

とうきょう すくわくプログラム



『とうきょう すくわくプログラム』は、保育園、幼稚園の垣根を越え、すべての乳幼児の「伸びる・育つ(すくすく)」と「好奇心・探究心(わくわく)」を育むためのプログラムです。このプログラムでは子どもたちが主体的にそして仲間と協働しながら探究活動に取り組み、乳幼児期に養うことが大切とされている『自己肯定感』や『思いやり』などの『非認知能力の育成』をサポートしていくことをねらいとしています。





みどりの保育園では『自然』をテーマに探究活動に取り組んでいます。多摩市連光寺の豊かで恵まれた自然環境での活動、季節の野菜、草花の栽培、生き物の飼育、石砂土水、木の実などの自然物とレンガ、木材などの工夫しながら使える素材を保育者に見守られながら思いおもいに使える園庭環境を活かし、子どもの『やってみたい』『どうなるんだろう』『知りたい』などの思いを叶えられる環境を整えることを大切に考え日々保育を展開しています。そして活動を通して子どもたちの『心の育ち』『主体性』『人と関わる力』の育ちをサポートしています。



☆探究活動①『自然』 ＊自然物を使った色水作り＊



きみどりぐみ(5歳児)の子どもたちが春に撒いたアサガオが咲いたとクラスで話題になっていました。その中で「色水を作ってみたい！」と声があがり色水作りセットを使って『探究活動』に取り組んでみました！



まずは話題になっていた『アサガオ』で実践！透明な水が少しずつ綺麗な紫色に。そのうち「水を多くすると色が薄くなる！」「水を少しでお花をいっぱいにしたらどうかな？」「ひまわりや葉っぱでやったらどうなるんだろう。」と子どもたちから色々な提案や考察、そして更なる探究活動に繋がる姿が見られました。



次々と彩り豊かな色水ができ、「〇〇したらこうなったよ！」と発見や気づきを生き生きとした表情で職員に報告に来てくれました！



「せっかく綺麗にできたから飾りたい！」と子どもたちから話があり和紙を使って『模様付け』をすることに。



きみどりぐみ(5歳児)の夢中に楽しんでいる姿に2歳児～4歳児の子どもたちも興味津々。真似をして色水作りにチャレンジしていました。年上の子どもが取り組んでいることに興味を持ち真似をしながら取り組む事で、できる事が増えていく姿を見て様々な年齢が関わりながら行う事の大切さにも気づきました。

☆まとめ&振り返り

春の種まきから大切に育ててきた『アサガオ』を使い、子どもたちからの発信によって今回の『探究活動』が実施できました。取り組みの中での子どもたちの発見や気づきから次への『探究活動』へ繋がる姿に子どもたちの発想の素晴らしさを感じました。また大人が設定する遊びと違い、素材や道具、環境を整えて提供する事で子ども自身が主体的にそして意欲的に取り組む姿が見られ、環境を整える事の大切さや子どもからの「こうしたい」「やってみたい」を叶えてあげる事の大切さを改めて感じました。



とうきょう
すくわく
プログラム

こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん